

带状疱疹

50歳代から発症率↑
80歳までに3人に1人が発症



傾向と対策

【なぜかかる？】

水疱瘡にかかったことがある方の体内にはウイルスが潜伏
(日本人成人の9割が該当！)

加齢・過労・ストレス・病気等で免疫力が低下すると
潜んでいたウイルスが再び活性化、
带状疱疹を発症

【発症が多いのは？】

- ・高齢者（50歳以上が7割）
- ・免疫が低下している方
(例) 糖尿病、がん
- ・免疫抑制の薬を飲んでいる方
(例) リウマチ

夏バテの出やすい夏～秋に
発症する方も多いです

【どんな症状？】

チクチクした痛みや痒み⇒体の片側に
赤い発疹⇒小さな水ぶくれを伴う
発疹が带状に広がる

皮膚症状だけでなく、神経にも
炎症を起こし、痛みが出現

神経の損傷がひどいと
皮膚の症状が治った後も
痛みが長く続くことも…

【治療方法】

抗ウイルス薬・痛み止め・軟膏

**体の片側に痛みを感じたあと
痛みのある部位に発疹が出現したら
早めに皮膚科をご受診ください**

重症化を防ぐためには
発症から3日以内の受診が勝負

【予防方法】

- ・日頃からの体調管理（免疫力を低下させない）
- ・50歳以上の方はワクチン接種可能（自治体により補助あり）
かかりつけ医にご相談ください